



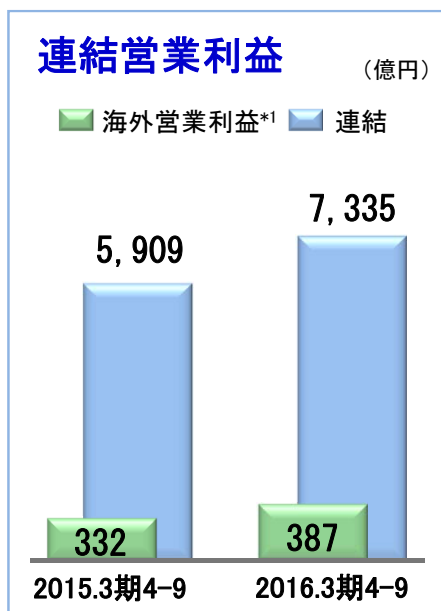
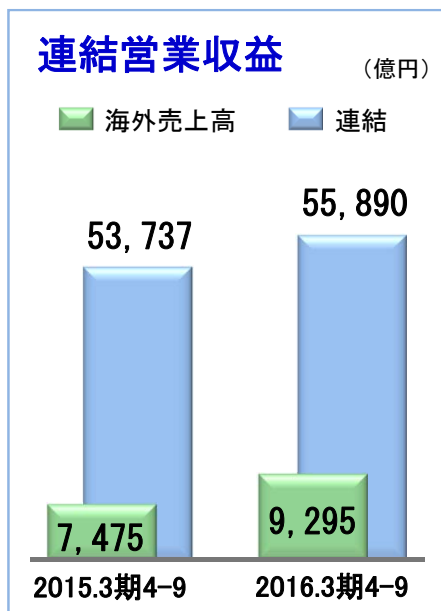
2016年3月期 第2四半期決算について

2015年11月6日

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。



● 増収増益決算 営業収益は6期連続増収の過去最高収益

● グローバル・クラウドサービスの拡大

- 海外売上高 : 対前年+1,820億円
- 海外営業利益*1 : 対前年+54億円

● ネットワークサービスの収益力強化

- ユーザ基盤の拡大
 - ・モバイル契約数 : 6,849万 (純増+190万)
 - ・FTTH契約数 : 1,904万 (純増+32万)
 - (再)コラボ光 : 235万 (新規+27万、転用+180万)

- Wi-Fiエリアオーナー数の拡大*2 : 248(対前年度末+93)

- コスト削減(固定/移動アクセス系) : 対前年▲2,250億円の削減

● B2B2Xモデルの推進

- 株式会社日立製作所とICTを利活用した都市インフラの整備・構築支援で業務提携
- 札幌市と協定を締結し、ICTの利活用により地域における社会課題の解決に向け連携

● 株主還元

- 10月1日までに2,100万株の自己株式を936億円で取得

*1 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

*2 小規模飲食店等を除く、大手企業ユーザ・自治体の顧客数

- 営業収益は、6期連続増収の過去最高収益
- 営業利益は、地域通信及び移動通信セグメントのコストコントロール等により増益
- 四半期純利益は、営業利益の増益に加え、減税の影響等により増益

(単位:億円)

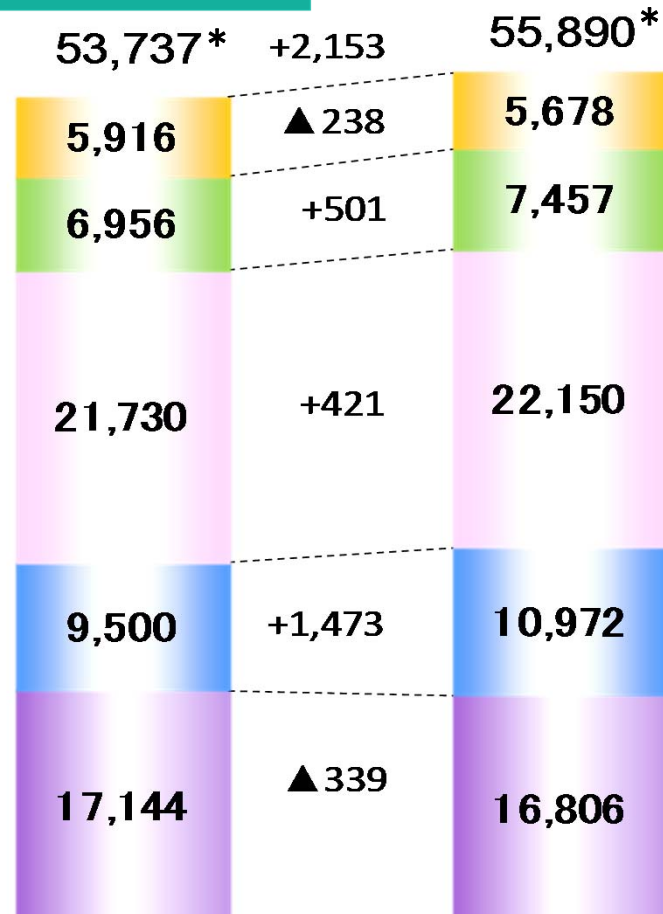
	2016年3月期 第2四半期実績			2015年3月期 第2四半期実績
		対前年同期増減額	対前年同期増減率	
営業収益	55,890	+2,153	+4.0%	53,737
営業費用	48,555	+728	+1.5%	47,827
営業利益	7,335	+1,425	+24.1%	5,909
四半期(当期) 純利益※	3,773	+870	+30.0%	2,903

※四半期(当期)純利益は、当社に帰属する四半期(当期)純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

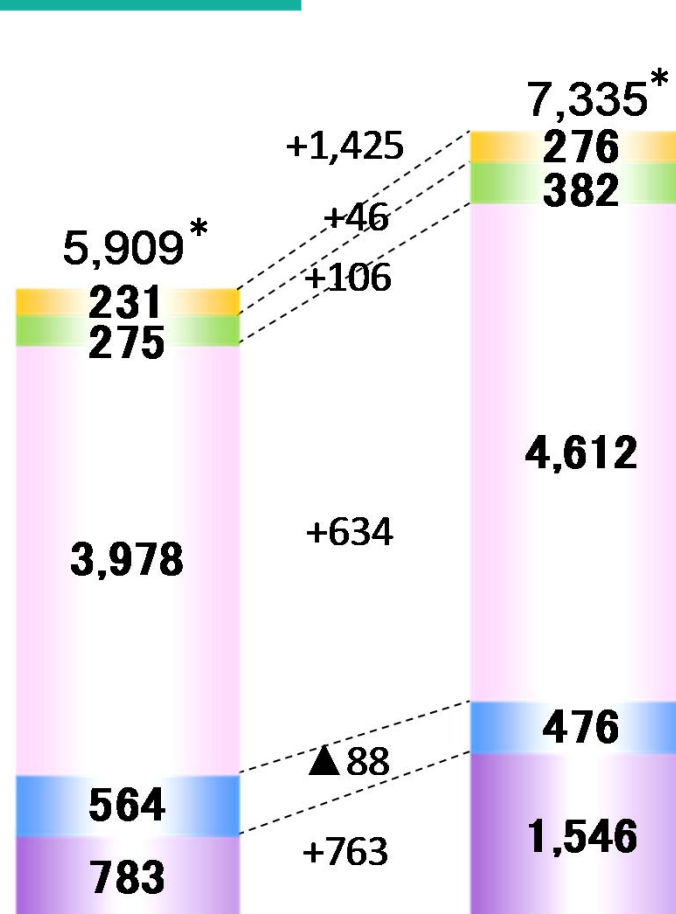
セグメント別の状況

- 地域通信 : 減収傾向は続いているものの、マーケティングコストの削減等により過去最高益
- 長距離・国際通信 : 海外ビジネスの成長及び成長分野への先行投資等により増収減益
- 移動通信 : スマートライフ領域やドコモ光による増収や、投資効率化による償却費の減及びコスト効率化の取組みにより増収増益
- データ通信 : 売上拡大に伴い増収増益

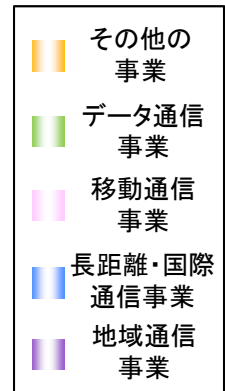
営業収益



営業利益



(単位: 億円)



2015.3期4-9

2016.3期4-9

*セグメント間取引消去・その他を含む

2015.3期4-9

2016.3期4-9

- 海外事業の成長、スマートライフ領域及び国内SI事業の増収、順調なコストコントロールにより
営業収益・営業利益ともに上方修正

(単位:億円)

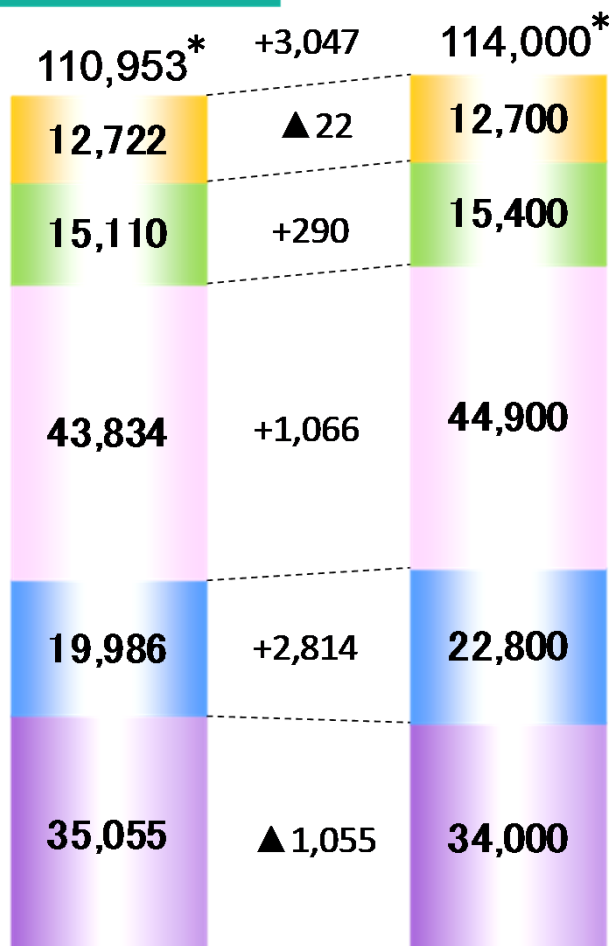
	2016年3月期 通期業績予想		2016年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 第2四半期実績 進捗率
		対当初増減額		
営業収益	114,000	+500	55,890	49.0%
営業費用	101,500	-	48,555	47.8%
営業利益	12,500	+500	7,335	58.7%
四半期(当期) 純利益 [※]	6,550	+250	3,773	57.6%
E P S	311.00	+13.50		

※四半期(当期)純利益は、当社に帰属する四半期(当期)純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

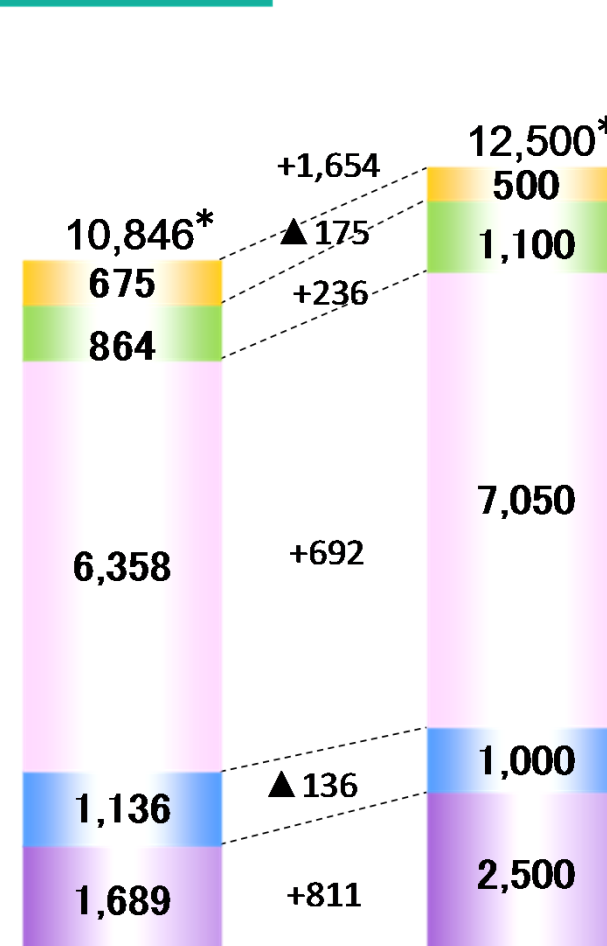
セグメント別の業績予想の概要

- **地域通信** : 光コラボやコストコントロールの進捗を踏まえ増益、営業収益は据え置き
- **長距離・国際通信** : 海外ビジネスの成長を踏まえ増収、営業利益は先行投資の影響もあり据え置き
- **移動通信** : スマートライフ領域の利益成長の加速とコスト効率化の更なる推進により増益
営業収益は端末販売計画の見直しにより減収
- **データ通信** : 営業収益・営業利益とも当初計画を据え置き

営業収益



営業利益



(単位: 億円)



2015.3期 2016.3期E
*セグメント間取引消去・その他を含む

2015.3期 2016.3期E

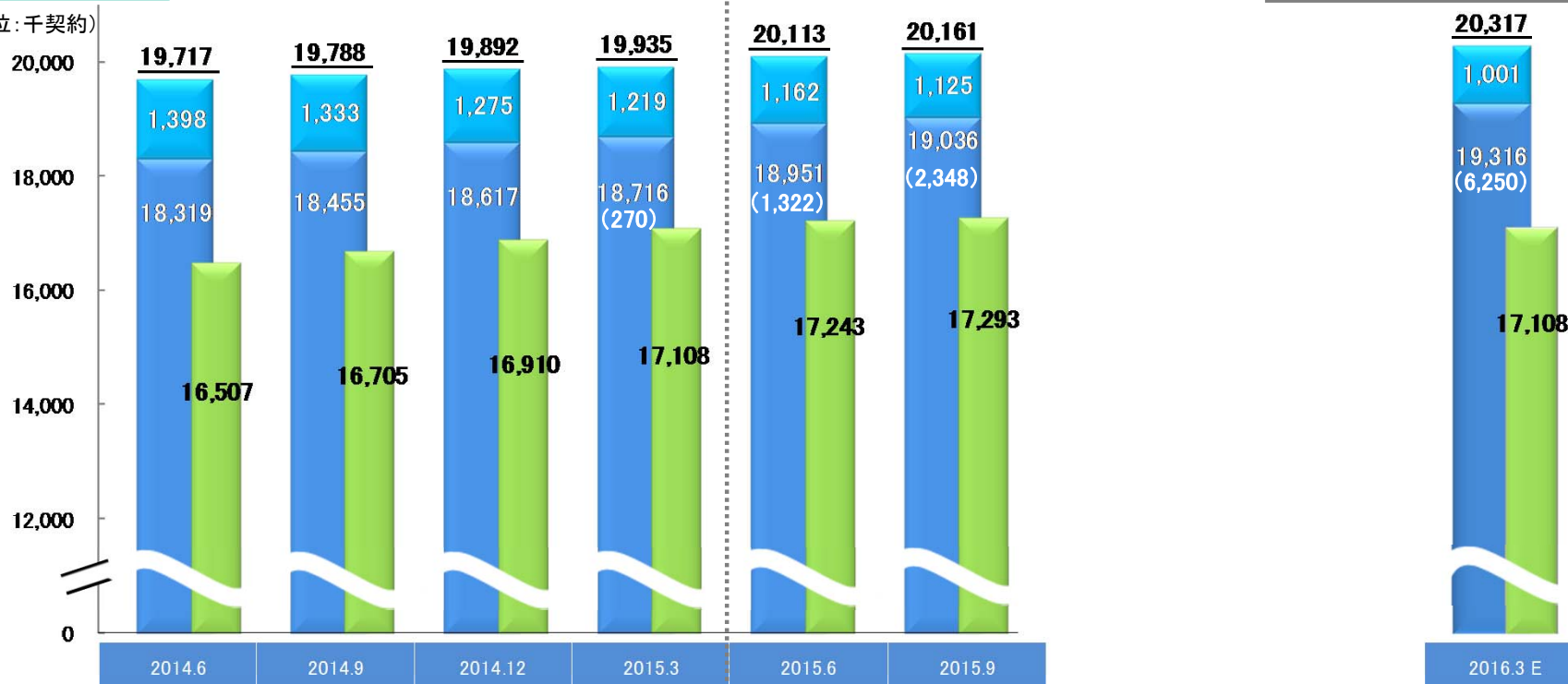
ブロードバンド・サービスの進展

固定ブロードバンドの契約数



契約数 ※1※2

(単位: 千契約)



対前四半期別純増(減)数

	2015.3期				2016.3期			2015.3期 通期実績	2016.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	2Q累計		
フレッツ光(コラボ光含む) ^{※1}	269	136	162	99	235	85	320	665	600
開通数 ^{※3}	879	683	684	720	810	559	1,369	2,966	2,750
フレッツADSL	▲ 85	▲ 65	▲ 58	▲ 56	▲ 58	▲ 37	▲ 95	▲ 264	▲ 218
ひかり電話 ^{※4※5}	251	199	204	198	135	50	185	852	0

※1 フレッツ光(コラボ光含む)は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、並びにNTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)を含めて記載しております。

※2 NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)契約数を()内に記載しております。

※3 開通数は移転による開通分を除いて記載しております。

※4 ひかり電話は、NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

※5 ひかり電話は、チャンネル数(単位: 千)を記載しております。

契約数※

(単位:千契約)

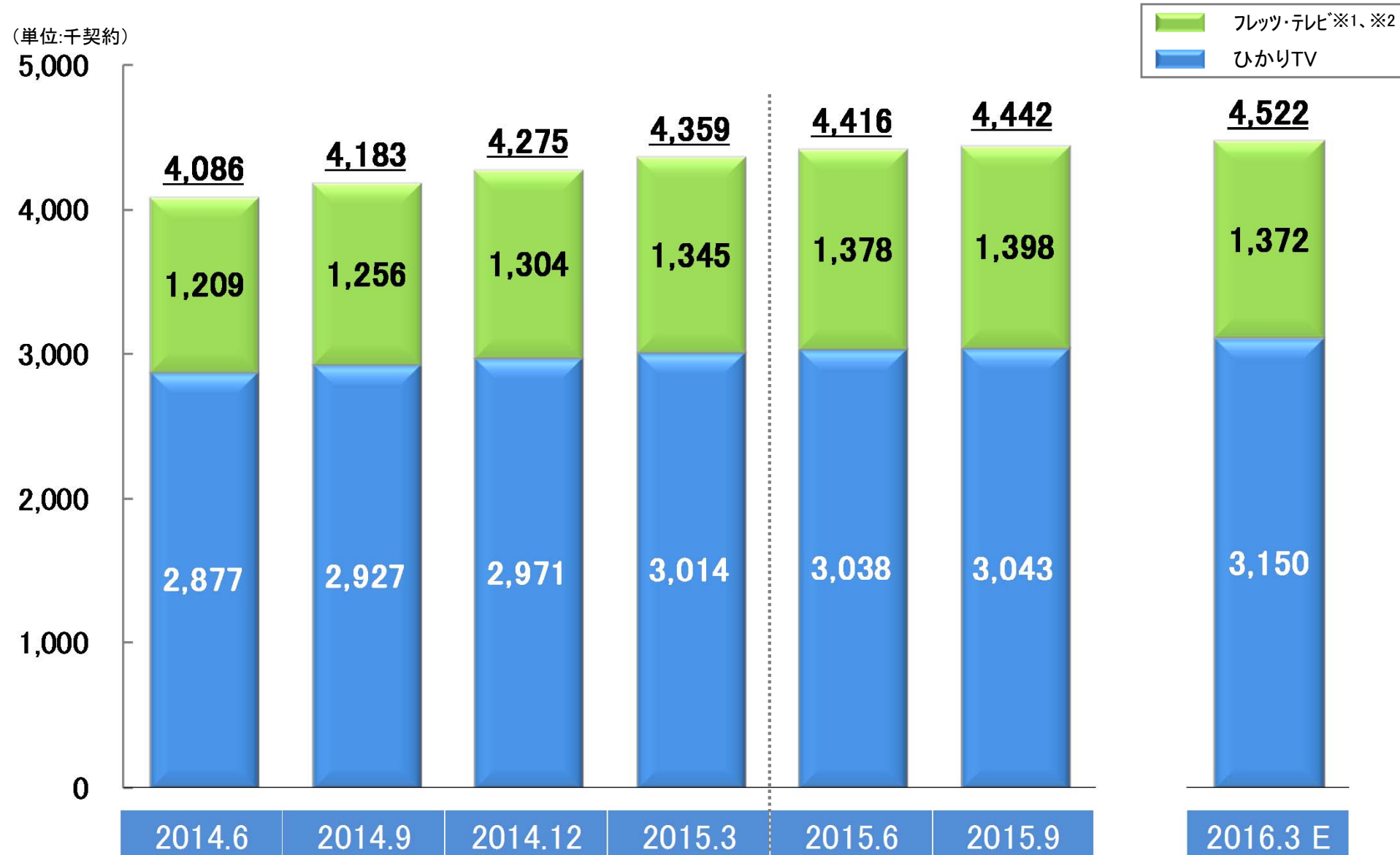


対前四半期別純増数

	2015.3期				2016.3期			2015.3期 通期実績	2016.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	2Q累計		
LTE (「Xi」)+FOMA	461	729	979	1,322	936	962	1,898	3,490	3,800

(単位:千契約)

※ 通信モジュールサービス契約数は移動ブロードバンド契約数に含めて記載しております。



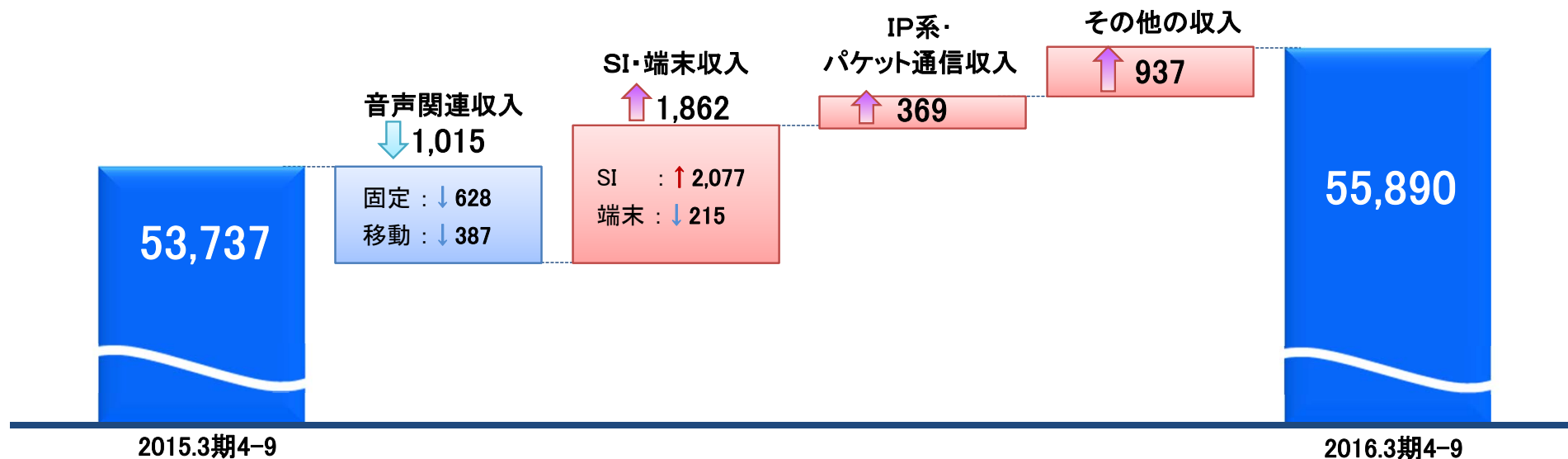
※1「フレッツ・テレビ」はNTT東西の「フレッツ・テレビ伝送サービス」の契約と、スカパーJSATの放送サービス「スカパーJSAT施設利用サービス」の契約により提供されるサービスです。

※2「フレッツ・テレビ伝送サービス」は、NTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

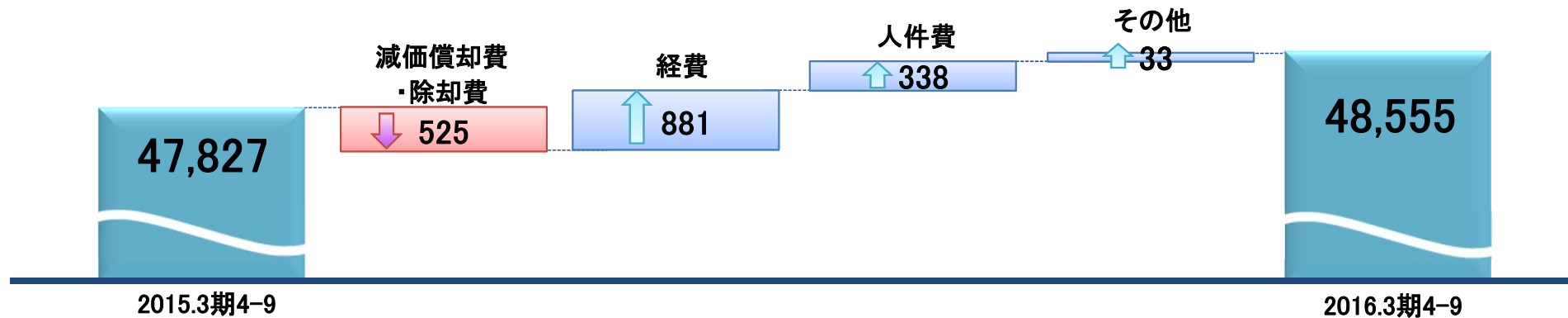
財務状況

営業収益 (対前年同期: +2,153)

(単位: 億円)



営業費用 (対前年同期: +728)

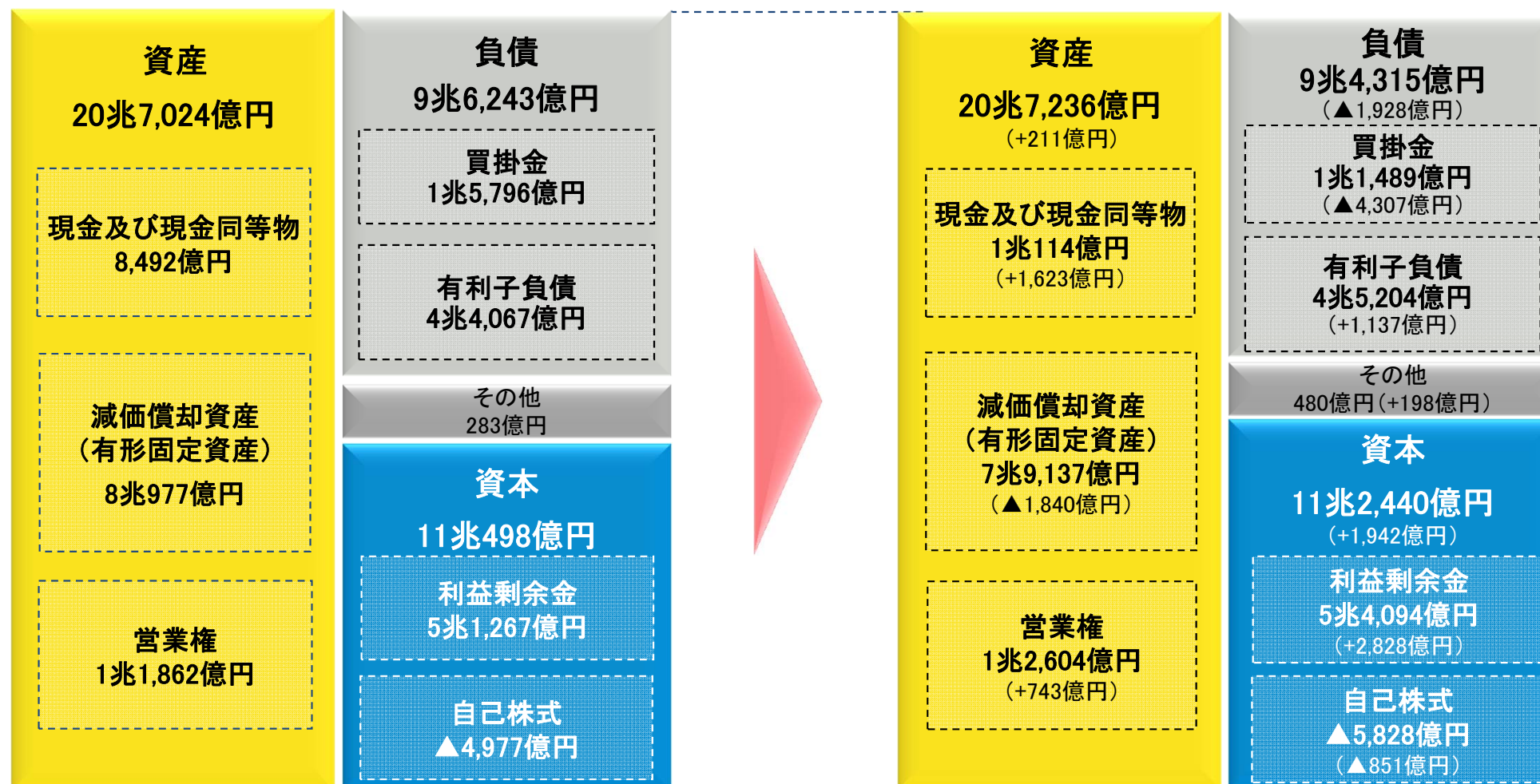


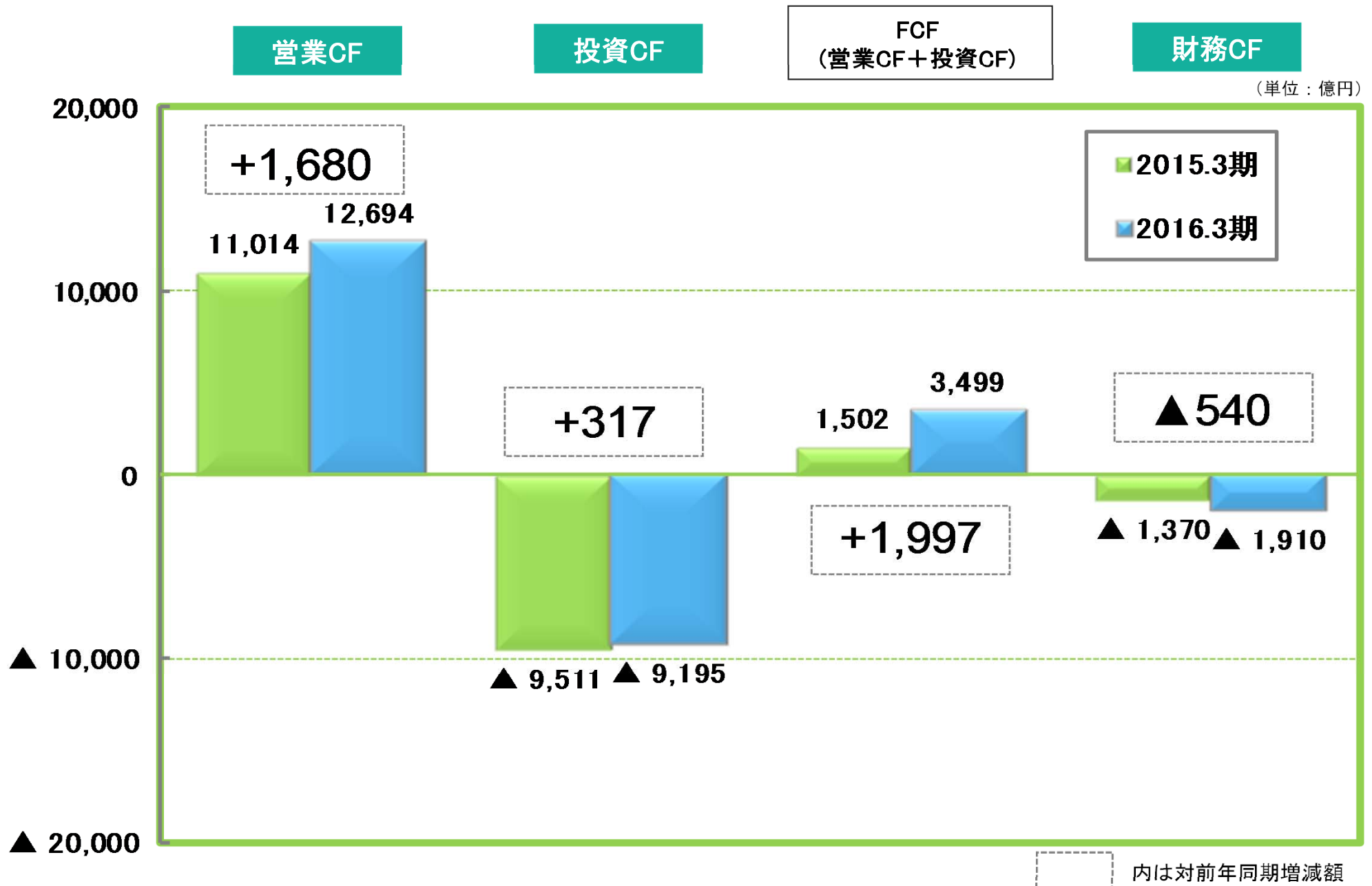
2015年3月期末

2016年3月期第2四半期末

20兆7,024億円

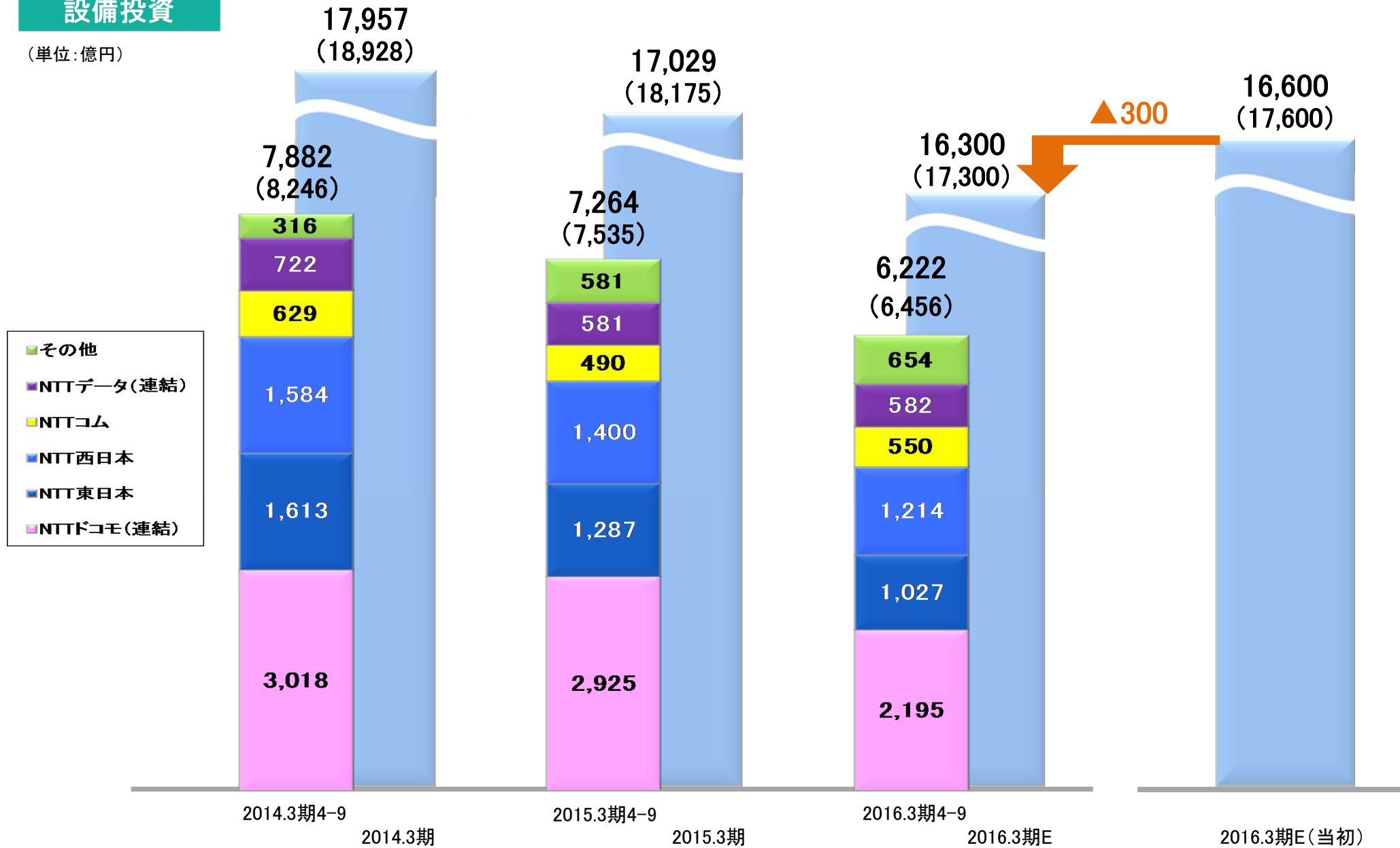
20兆7,236億円





設備投資

(単位: 億円)



※ ()内の数値は、不動産及び太陽光発電事業関連の投資額を含めた数値。

国内ネットワーク事業の効率化

■ 設備投資の効率化
2018年3月期までに
▲2,000億円以上

(国内ネットワーク事業 対2015年3月期)

■ コスト削減
2018年3月期までに
▲6,000億円以上

(固定/移動アクセス系 対2015年3月期)

新たな技術の積極的導入・拡大

(SDN/NFV※、AI等)

- ・ハードウェアのコモディティ化・高集積化
- ・リモートコントロール

リソースの有効活用

- 設備の利用効率向上による徹底活用
- サービス/機能のクロス利用
- ビルグランドデザインの見直しによるROA向上
- ITシステムの共通基盤化/スリム化

ハードウェア/ソフトウェア仕様最適化

- 仕様絞り込み/統一による調達/開発の効率化
- 工事/保守の効率化

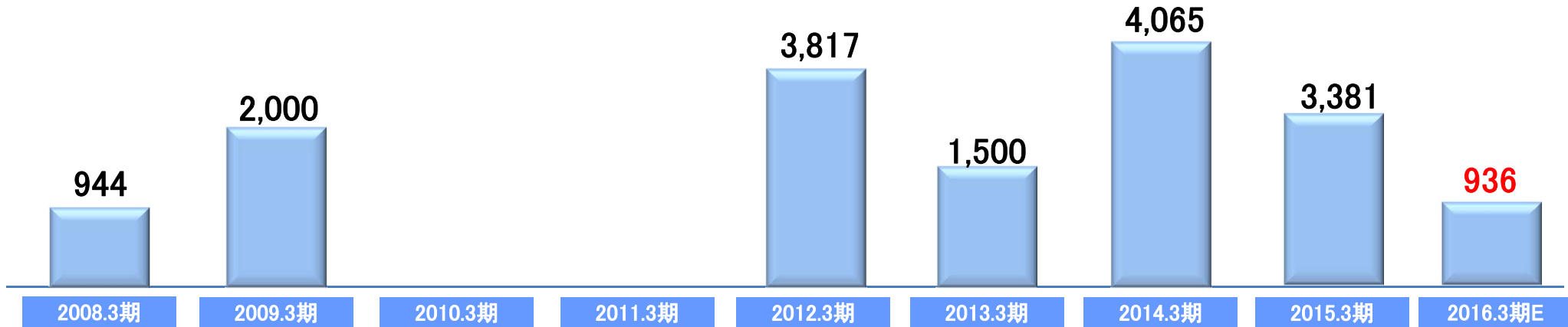
BPR

- オンサイト業務の複合技術者化
- サービス品質レベルの最適化

※SDN: Software Defined Networking ソフトウェアにより機能や構成を定義・制御可能なネットワーク
NFV: Network Functions Virtualization ソフトウェアによるネットワーク機能の仮想化

自己株式取得

(億円)



1株当たり配当額

—●— 配当性向

(注) 配当は、2015.7.1を効力発生日とした株式分割後(普通株式1株を2株に分割)の値に調整しております。

(円)

